

令和2年度
網走市における景気動向調査
<第I四半期>

報 告 書

網 走 商 工 会 議 所

目 次

第1章 調査要領

1-1. 調査時点及び調査対象期間	1
1-2. 調査対象	1
1-3. 調査方法	1
1-4. 回収状況	1

第2章 概況

2-1. 全体の動き	2
2-2. 業種別の動き	3

第3章 各判断項目回答割合と天気図

3-1. 記号説明	4
3-2. 各業種の動向	4
3-3. 採算	10

第4章 産業別経営上の問題点

4-1. 回答実数	11
4-2. 回答割合	11

第5章 産業別設備投資の状況

第6章 業界の景気動向等その他のご意見

第1章 調査要領

1-1. 調査時点及び調査対象期間

(1) 調査時点: 令和2年4月1日(水)～2年6月30日(火)

(2) 調査対象期間: 令和2年4月～6月期実施、及び令和2年7月～9月見通し

1-2. 調査対象

網走市に所在する建設業(30件)、製造業(24件)、卸売業(20件)、小売業(40件)、サービス業(44件)の158社を調査対象とした。

1-3. 調査方法

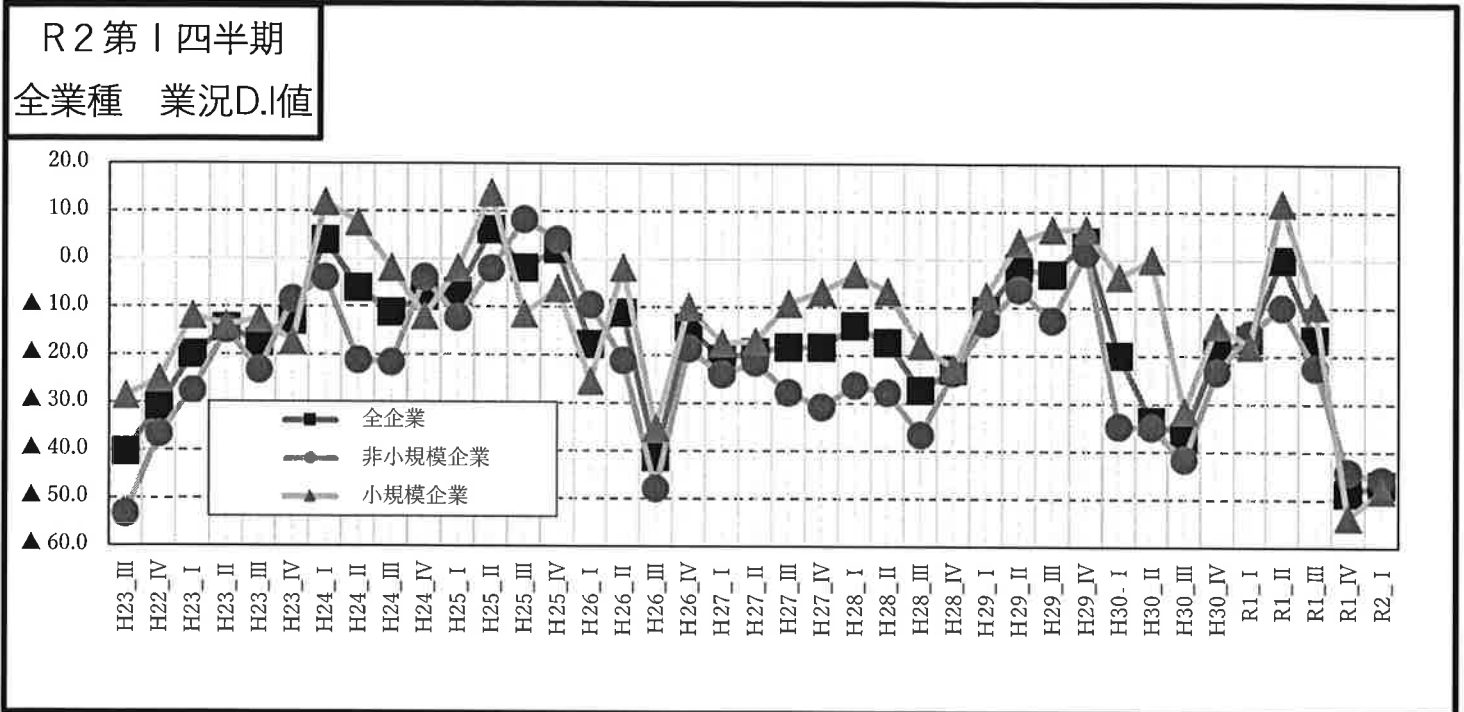
調査対象に調査票を送付し、FAX,もしくは返信用封筒による郵送で回答を受ける。

1-4. 回収状況

業種	企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
建設業		30件	25件 (非小規模企業: 13件) (小規模企業: 12件)	83.3%
製造業		24件	18件 (非小規模企業: 10件) (小規模企業: 8件)	75.0%
卸売業		20件	14件 (非小規模企業: 8件) (小規模企業: 6件)	70.0%
小売業		40件	28件 (非小規模企業: 16件) (小規模企業: 12件)	70.0%
サービス業		44件	32件 (非小規模企業: 15件) (小規模企業: 17件)	72.7%
合計		158件	117件	74.1%

第2章 概況

2-1. 全体の動き



令和2年度第 I 四半期（4 月～6 月）の業況は、前年同月比で「好転企業」5.1%「悪化企業」63.2%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いた D.I 値は▲58.1 と大きく後退し、前期から今期にかけてさらに悪化傾向を示しました。

業種別で見た業況は建設業が 1.4 ポイント改善し▲16.0、製造業は 13.8 ポイント悪化し▲66.7、卸売業 7.2 ポイント改善し▲57.1、小売業 17.8 ポイント悪化し▲71.4、サービス業 11.7 ポイント悪化し▲75.0 と多くの業種で悪化傾向を示し、特に製造業、小売業、サービス業は大きく悪化しました。

次期（7 月～9 月）の業況判断 D.I 値は、今期と比べ 31.6 ポイント改善し、▲26.5 を予想しております。業種別では小売業 14.3 ポイント改善し▲57.1、サービス業 65.6 ポイント改善し▲9.4、建設業 4.0 ポイント悪化し▲20.0、製造業 11.2 ポイント改善し▲55.5、卸売業 35.6 ポイント改善し 21.5、第 IV 四半期との比較で改善しているところが多いですが、依然深刻な状況にあります。また、「売上の不振」「同業者間の競合」を問題にしている企業が増えています。また、今期の特徴として「人件費増」「諸経費増」が減少傾向にあります。

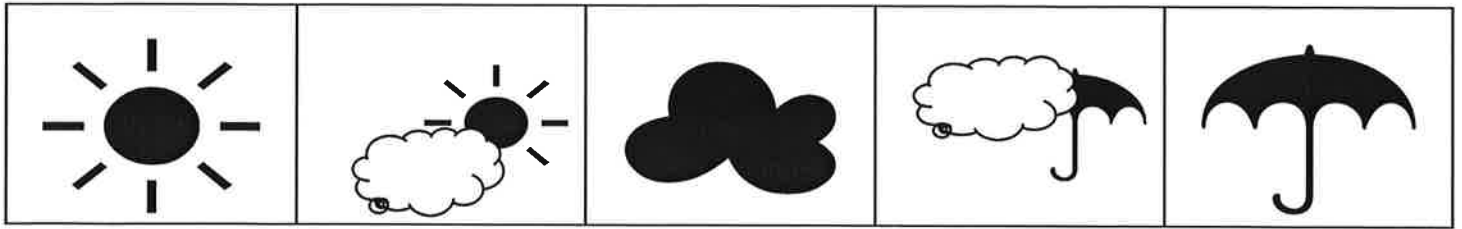
全体としては、第 IV 四半期から悪化傾向にありましたが、今期もマイナス水準になり、次期業況においてもマイナス水準が継続する予想となりました。前期から新型コロナウイルスの影響も続き、依然として予断を許さない状況にあるといえ、全業種とも経営改善に向けた対応や対策が強く求められています。

2-2. 業種別の動き

業 種	規模/項目	売上高（完成工事高）			採算			次期（D.I値）		
		増加	減少	DI値	増加	減少	DI値	業況	売 上	資金繰
建設業	小規模	27.3	27.3	0.0	0.0	33.3	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 8.3
	非小規模	7.7	30.8	▲ 23.1	0.0	23.1	▲ 23.1	▲ 23.1	▲ 38.5	▲ 15.4
	全 体	16.7	29.2	▲ 12.5	0.0	28.0	▲ 28.0	▲ 20.0	▲ 32.0	▲ 12.0
製造業	小規模	0.0	75.0	▲ 75.0	0.0	75.0	▲ 75.0	▲ 62.5	▲ 62.5	▲ 50.0
	非小規模	0.0	50.0	▲ 50.0	10.0	50.0	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 40.0	▲ 20.0
	全 体	0.0	61.1	▲ 61.1	5.6	61.1	▲ 55.6	▲ 55.5	▲ 50.0	▲ 33.3
卸売業	小規模	16.7	83.3	▲ 66.7	0.0	83.3	▲ 83.3	33.3	16.7	16.7
	非小規模	12.5	75.0	▲ 62.5	12.5	50.0	▲ 37.5	12.5	25.0	▲ 12.5
	全 体	14.3	78.6	▲ 64.3	7.1	64.3	▲ 57.1	21.5	21.4	0.0
小売業	小規模	8.3	66.7	▲ 58.3	8.3	50.0	▲ 41.7	▲ 50.0	▲ 41.7	▲ 33.3
	非小規模	6.3	87.5	▲ 81.3	0.0	75.0	▲ 75.0	▲ 62.5	▲ 68.8	▲ 12.5
	全 体	7.1	78.6	▲ 71.4	3.6	64.3	▲ 60.7	▲ 57.1	▲ 57.1	▲ 21.4
サービス業	小規模	0.0	82.4	▲ 82.4	0.0	68.8	▲ 68.8	▲ 41.2	▲ 52.9	▲ 23.5
	非小規模	7.1	71.4	▲ 64.3	0.0	61.5	▲ 61.5	26.7	14.3	▲ 7.1
	全 体	3.2	77.4	▲ 74.2	0.0	65.5	▲ 65.5	▲ 9.4	▲ 22.6	▲ 16.1

第3章 各判断項目回答割合と天気図

3-1. 記号説明



とくに好調
(D.I. ≥ 50)

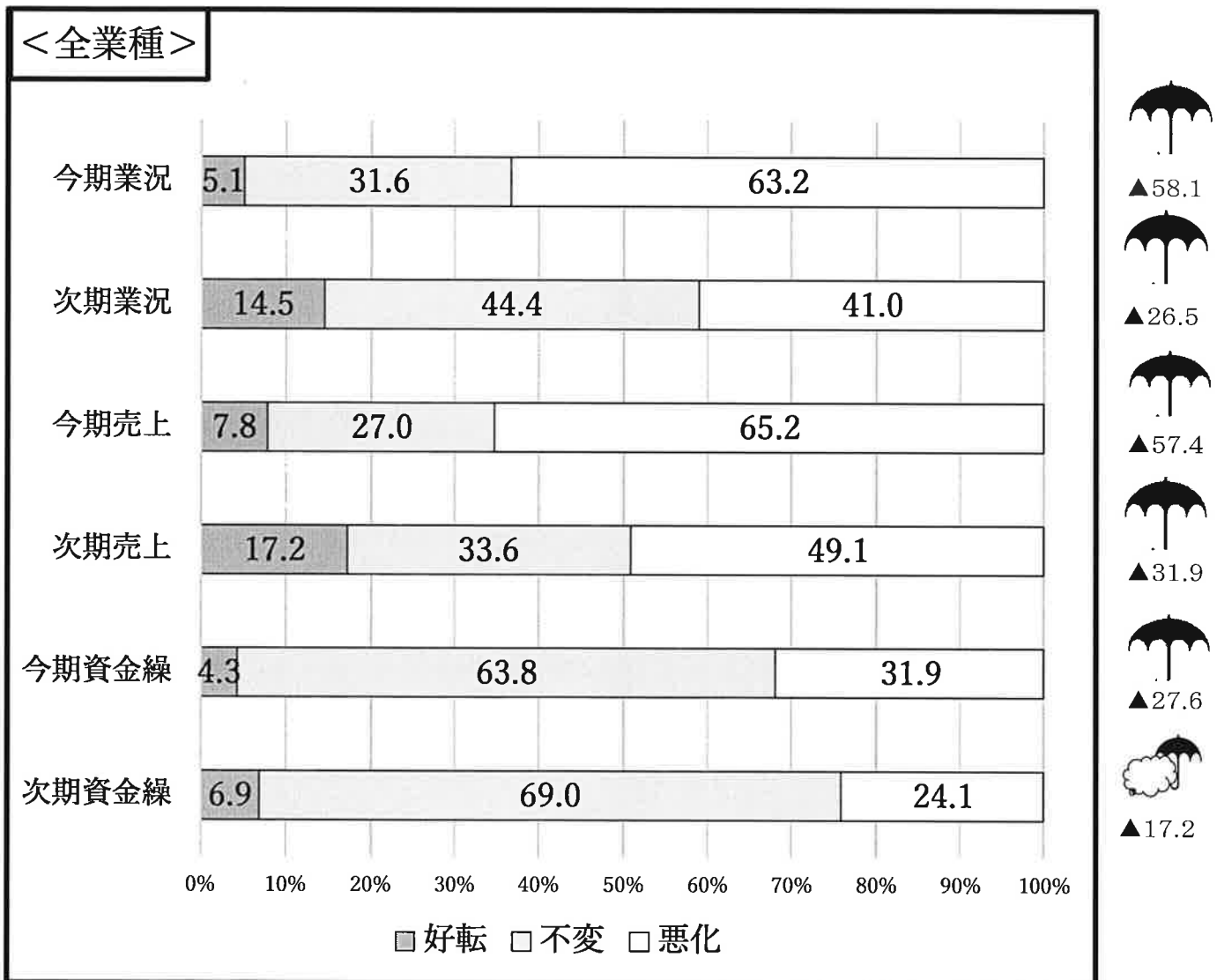
好 調
(50 > D.I. ≥ 25)

まあまあ
(25 > D.I. ≥ 0)

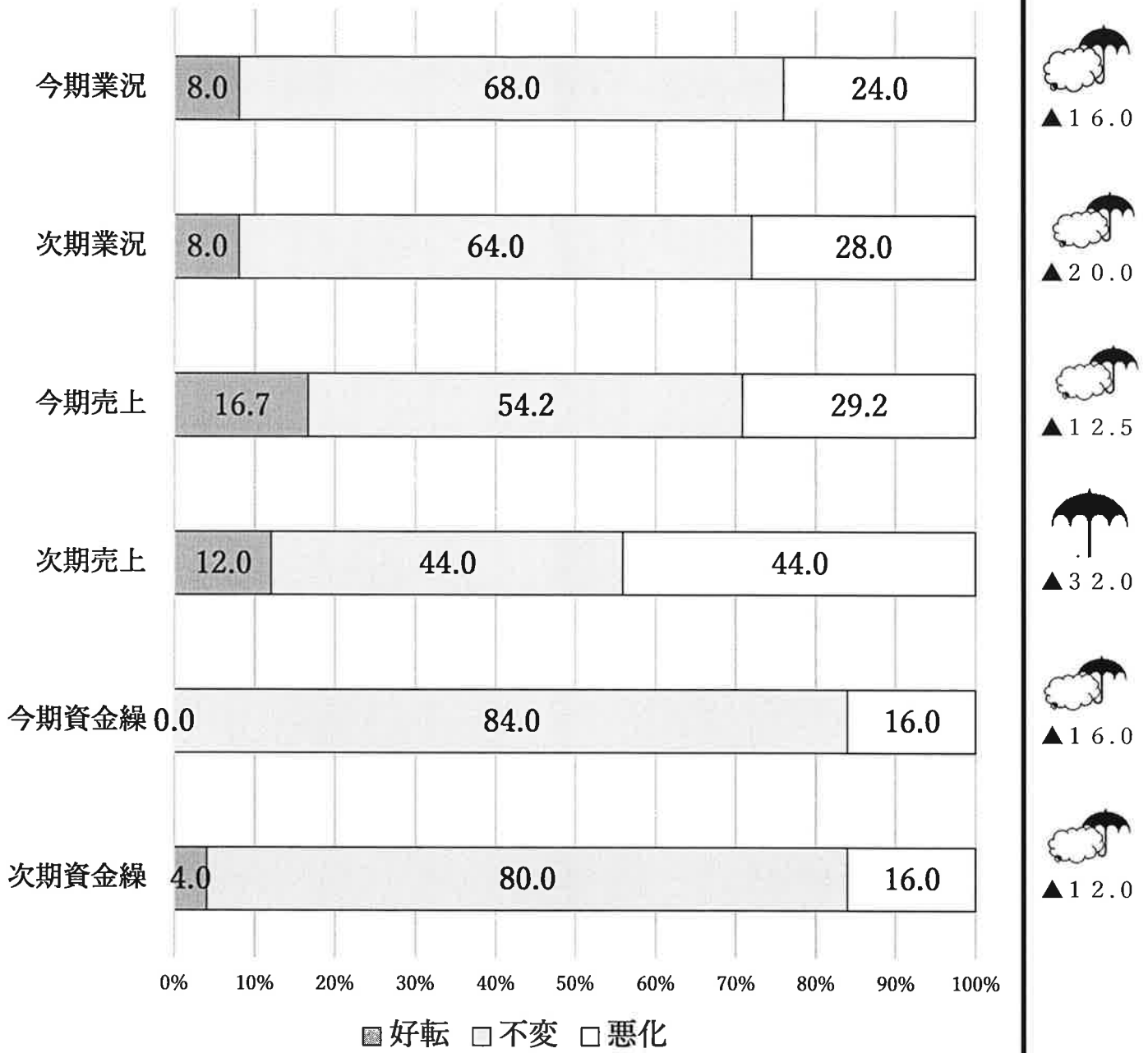
不 振
(0 > D.I. ≥ ▲25)

きわめて不振
(▲25 > D.I.)

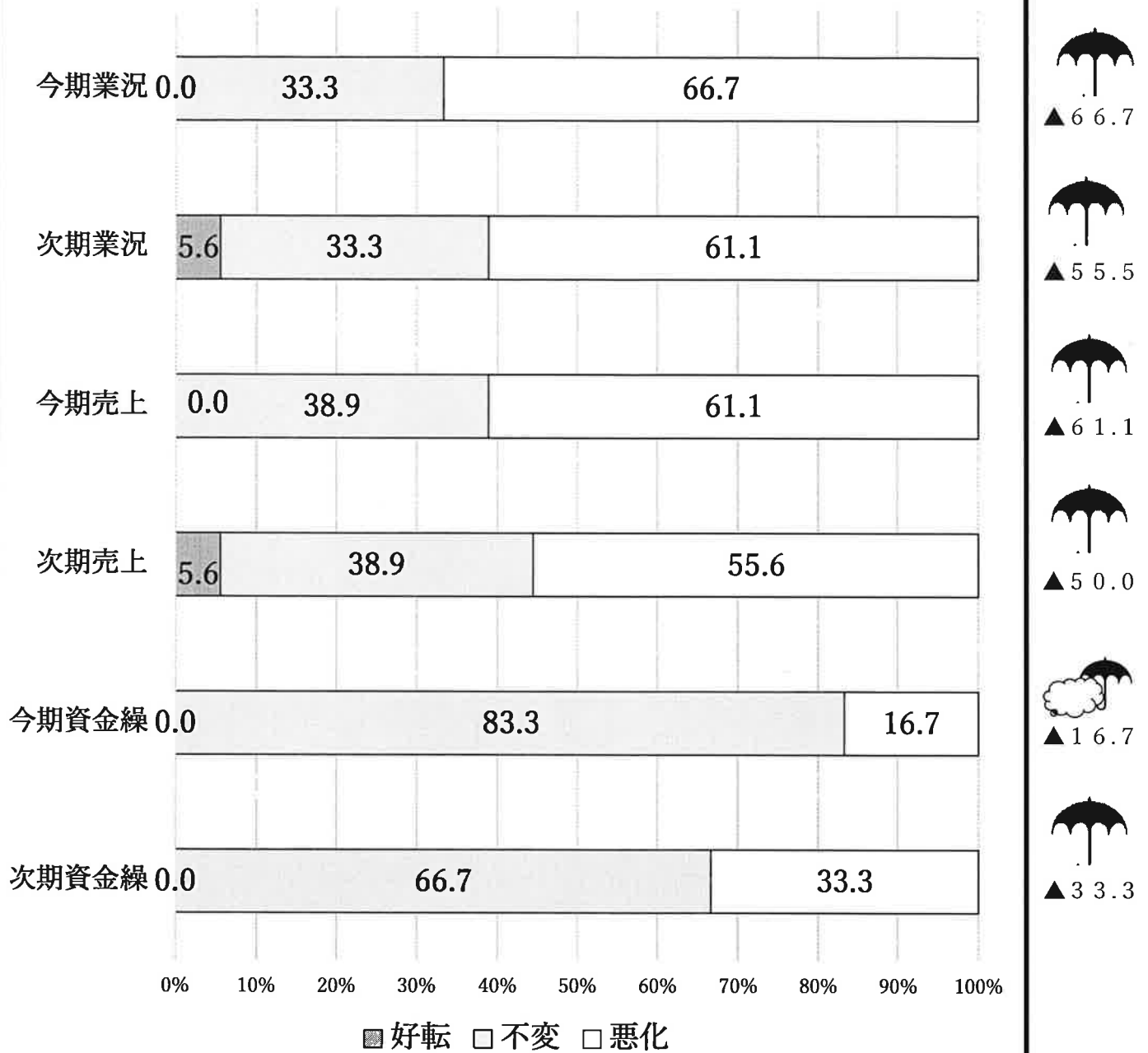
3-2. 各業種の動向



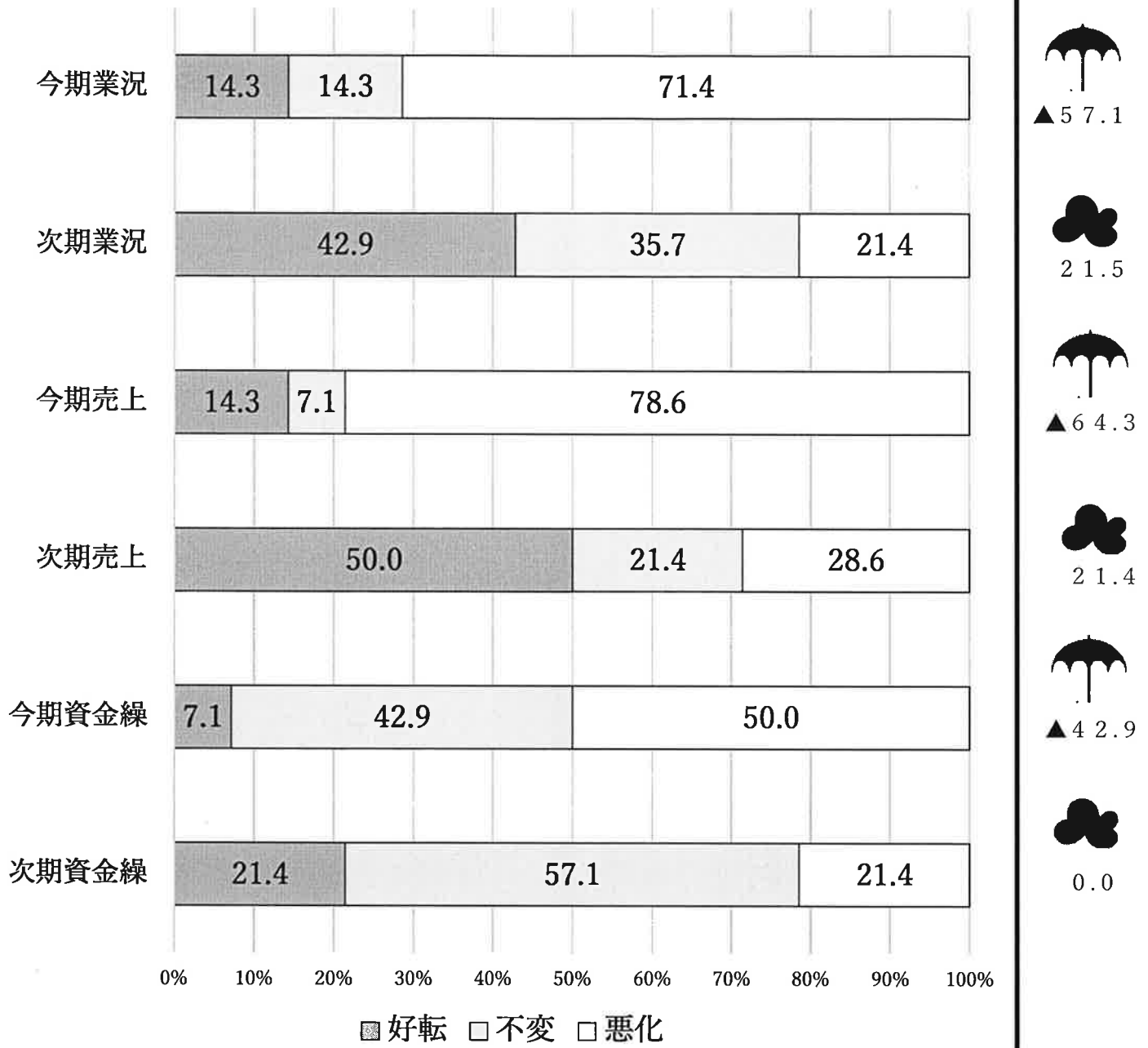
<建設業>



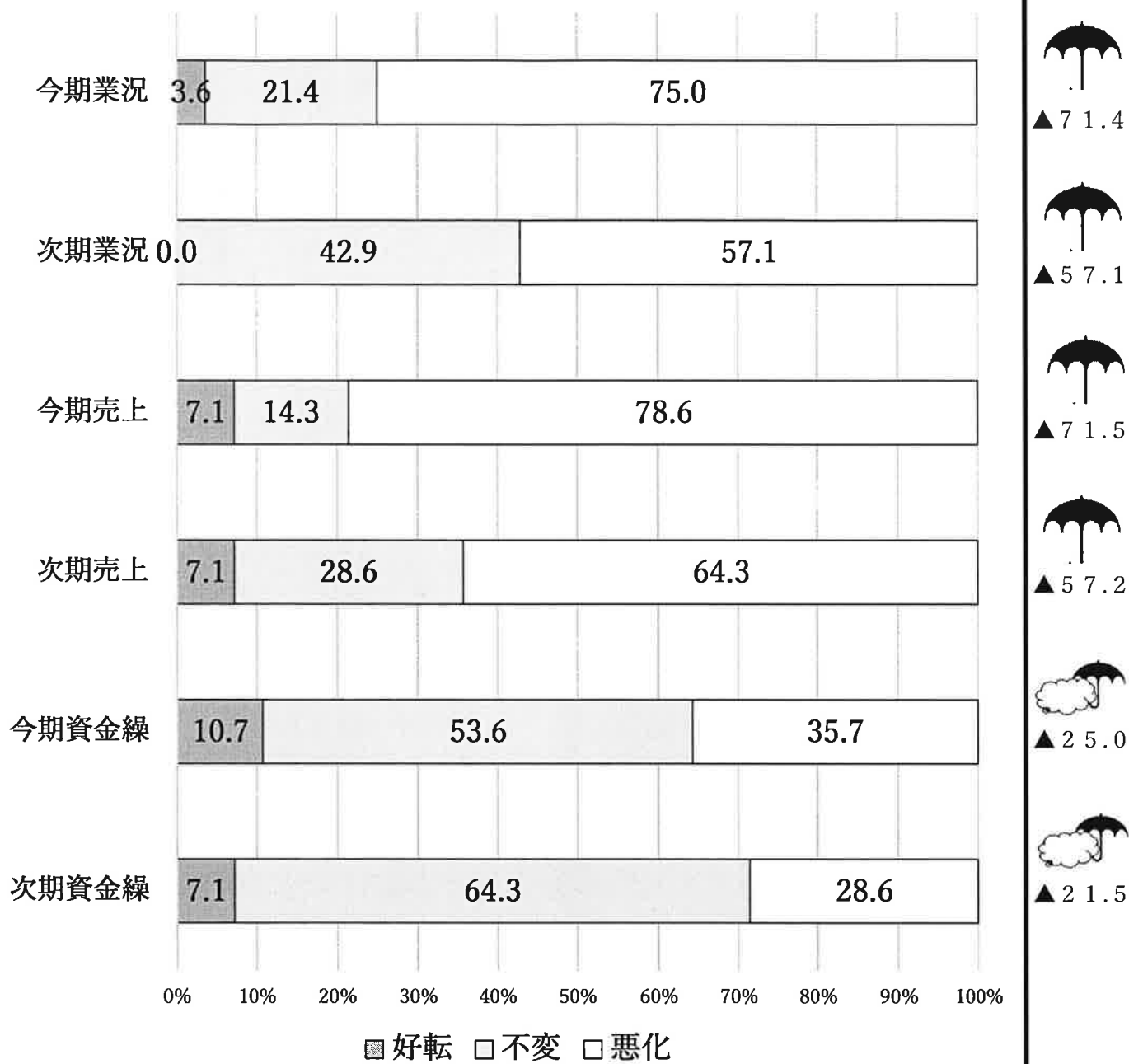
< 製造業 >



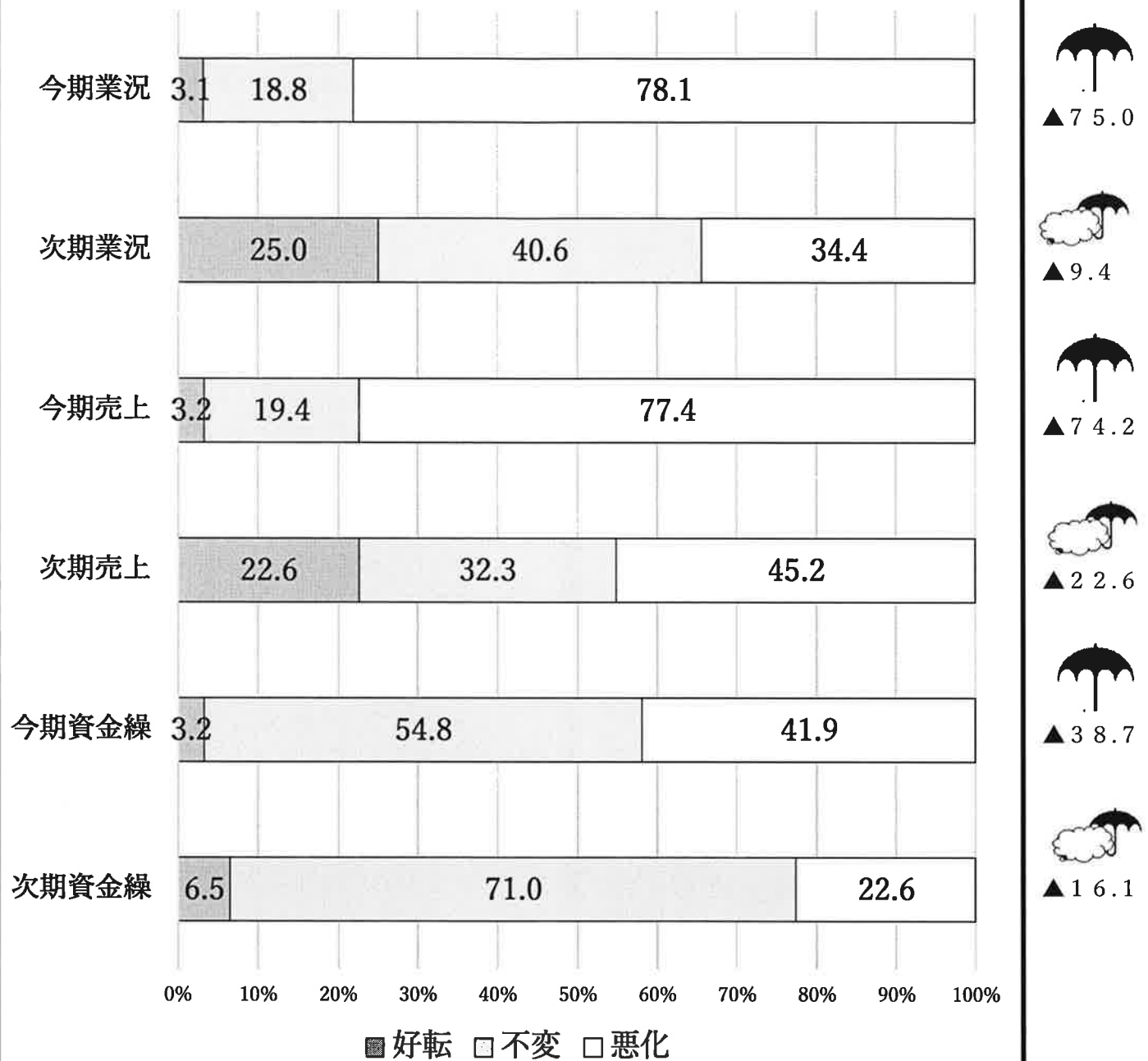
<卸売業>



<小売業>

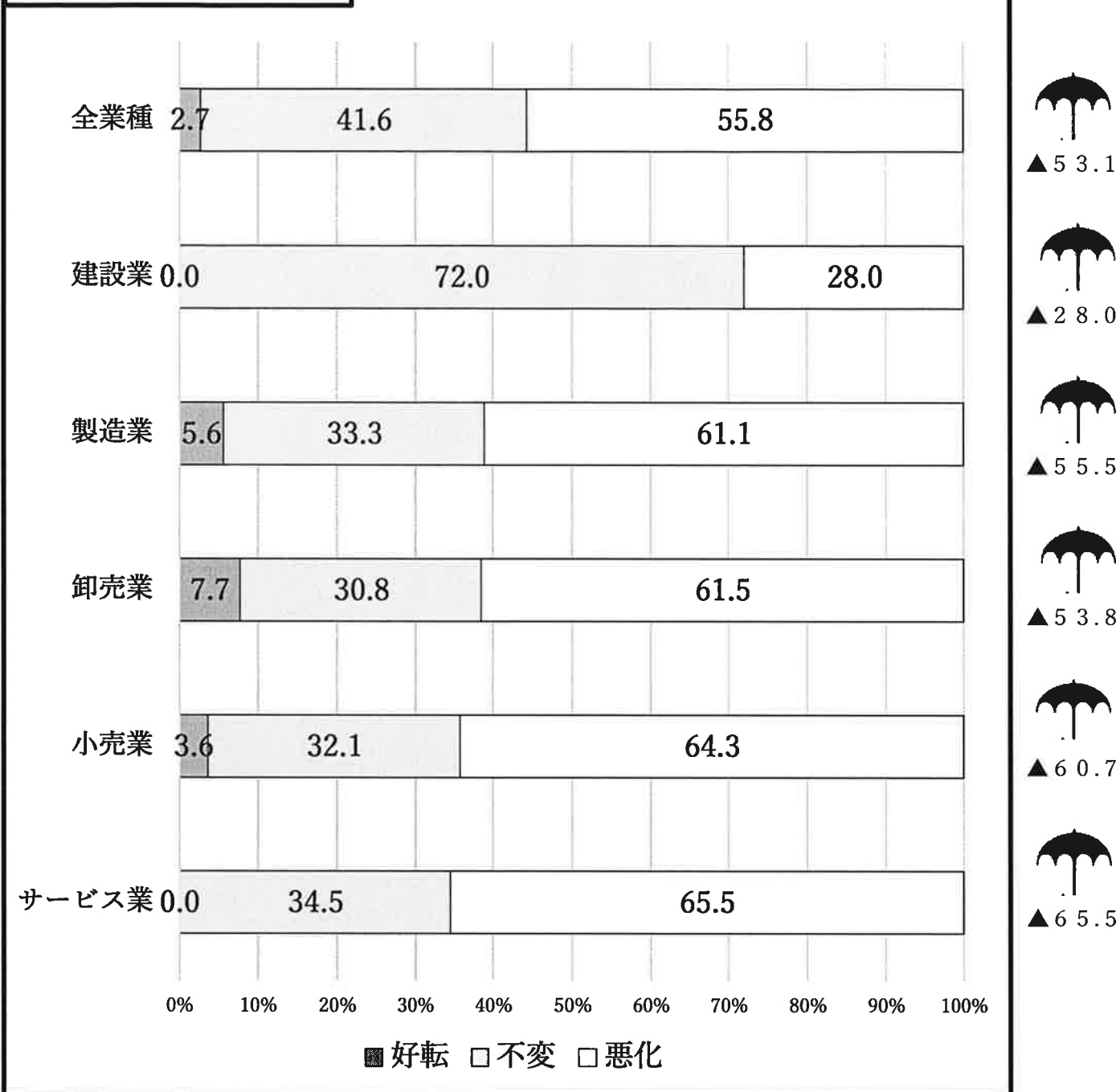


<サービス業>



3-3. 採算

今期の採算<業種別>

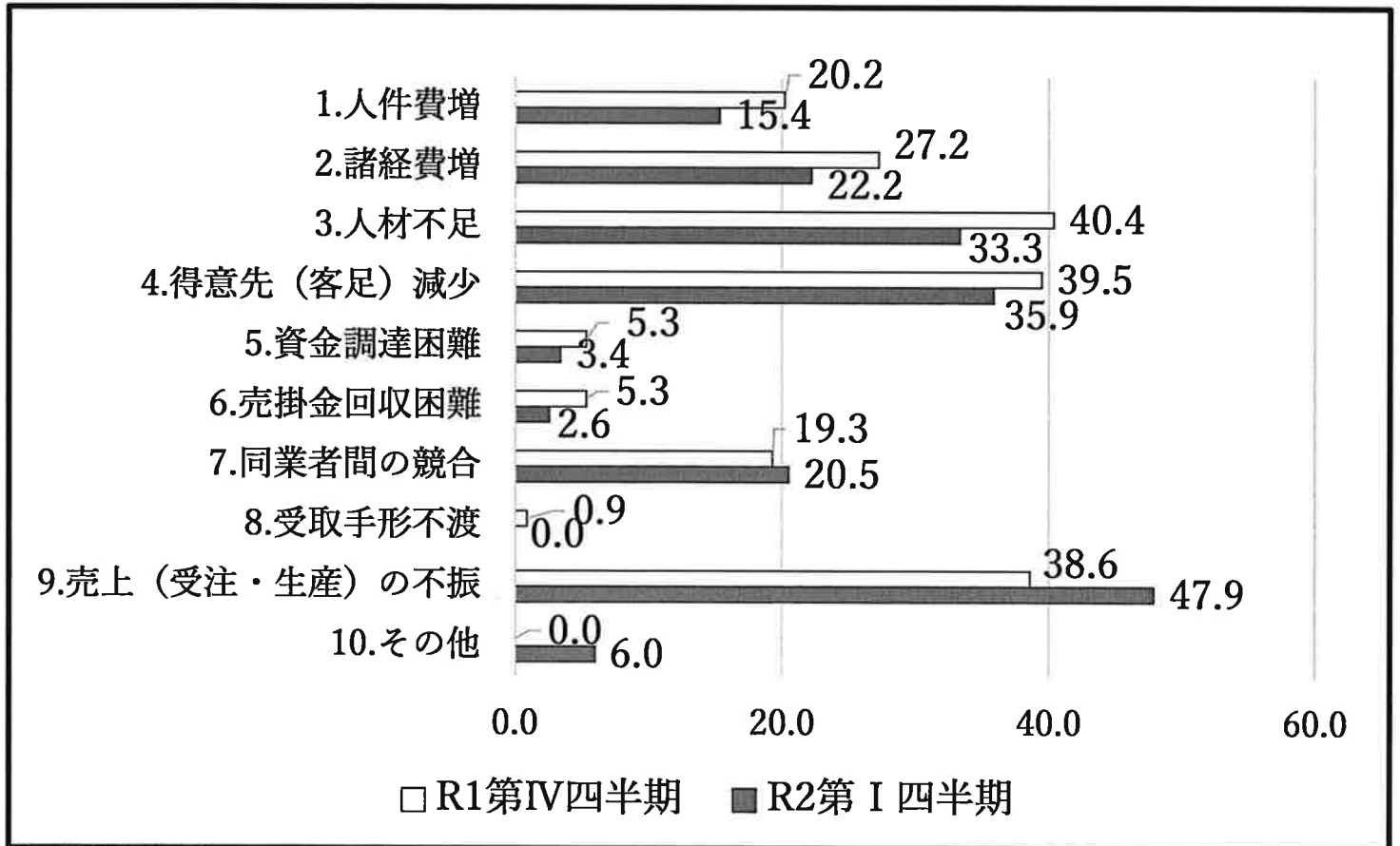


第4章 産業別経営上の問題点

4-1. 回答実数

業種	1位	2位	3位	4位	5位
建設業	人材不足	諸経費増 売上の不振	人件費増 同業者間の競合	—	—
製造業	売上の不振	諸経費増 人材不足	得意先減少	人件費増 同業者間の競合	—
卸売業	得意先減少 売上の不振	人件費増 同業者間の競合	諸経費増 売掛金回収困難	人材不足 資金調達困難	—
小売業	得意先減少	売上の不振	同業者間の競合	人材不足	諸経費増
サービス業	売上の不振	得意先減少	人材不足	同業者間の競合	人件費増 諸経費増
合計	売上の不振	得意先減少	人材不足	諸経費増	同業者間の競合

4-2. 回答割合(%)



注：複数回答あり

第5章 産業別設備投資の状況

今期の設備投資の有無と設備内容について調査し、業種別に統計しました。

設備投資の有無は表1のとおり、設備内容は表2です。

表1 業種別件設備投資の動向

設備投資状況	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
した	5 件 20.0	2 件 11.1	1 件 7.1	4 件 14.3	7 件 21.9
していない	20 件 80.0	16 件 88.9	13 件 92.9	23 件 82.1	25 件 78.1
無回答	0 件 0.0	0 件 0.0	0 件 0.0	1 件 3.6	0 件 0.0
合計	25 件 100.0	18 件 100.0	14 件 100.0	28 件 100.0	32 件 100.0

※右側の数字はパーセンテージを表している。

表2 業種別設備投資の内容

設備投資内容	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
土地	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
店舗	0 件	0 件	0 件	1 件	3 件
販売設備	0 件	0 件	1 件	0 件	0 件
車両運搬具	2 件	0 件	0 件	2 件	1 件
付帯設備	0 件	2 件	1 件	1 件	3 件
OA 機器	2 件	0 件	0 件	1 件	2 件
福利厚生施設	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
その他	1 件	0 件	0 件	0 件	0 件
合計	5 件	2 件	2 件	5 件	9 件

※複数回答があるため、表5-1の合計件数と相違している。

※その他の記述内容(1件記述あり)

【建設業】

- ・測定器 3 台

第6章 業界の景気動向等その他のご意見

◎業界の問題点について

【建設業】

- ・若手技術者への技術継承（高齢化による）、若手技術者の技術交流の機会が少ない（若手育成の場。）
- ・建設業は、不景気の影響が遅れてくるので来年度仕事があるのか心配している。
- ・社員・従業員の高齢化。若い人材が入ってこない。外注経費が高い。

【製造業】

- ・販売価格の低迷。安くないと売れない。
- ・新型コロナウイルスの影響大。

【小売業】

- ・人が集まるイベント中止により、打つ手がない。深刻な問題。
- ・コロナの影響が4月、5月より6月、7月の方がより悪くなっている。

【サービス業】

- ・売上は新型コロナの治療薬、ワクチンができるまで50～60%が限界と思われまます。新しい売上の柱を考えています。
- ・新型コロナウイルス感染症対策を実施しながらも各種システム（サーモグラフィー、センサー等）の導入、食事（ビュッフェ）料理の個盛り対応を一部盛り込み式（手袋着用、トング交換）に変更し、更に一連の導入の後に現状の稼働率を通年の7～8割まで増やす方向です。又、各種補助金の活用と合わせて前期分の損失を最小限にする事が課題であります。
- ・コロナの状況で各イベントの中止の中、少しは戻っては来てますが人が街に出てもらおうための対策を考えつつ、密を避け、市民に喜んでもらうためのなんらかの企画を考えなければならないと思います。
- ・コロナ禍で影響はありました。でも休業等申請の対象外業種のため、営業は休まず続けました。常連客などの協力で売上減は最小に押さえることができました。
- ・人との接触が避けられない業種なので、感染予防の徹底とそれを患者さんに理解してもらう事が難しいと思う。
- ・これからコロナの動向にかかっています。外人客が皆無です。